



① 高校総合体育大会（高総体）等の成績

少人数ながら、生徒たちはお互いに助け合いながら工夫を凝らした練習を続け、大会でも頑張ってくれました。

部活動名	大会名	生徒（学年・クラス）と主な成績
陸上競技	高総体地区予選	太田うらら（3A）やり投決勝第5位
	高総体県大会	黄川田 織（2B）ハンマー投決勝第9位 円盤投決勝第14位
アーチェリー	高総体県大会	平野 聖実（3B）第6位 千葉 心（3B）第11位
		井上 遼汰（3A）第9位 千葉 旭陽（3B）第13位
バレーボール	高総体県大会	住田高 0—2 水沢工業高
バスケットボール	高総体県大会	住田高 39—88 金ヶ崎高
ソフトテニス	高総体県大会	住田高 3—0 水沢農業高（団体戦）
		住田高 1—2 大船渡東高（団体戦）
吹奏楽	県吹奏楽コンクール 地区大会	銅賞
硬式野球	全国高校野球選手権 岩手大会	住田高 0—10 水沢工業高

「岩手日報」の記事より、本校野球部の試合内容を紹介します。

住田奮闘、五回まで互角 住田 16 人で挑み感謝胸にプレー

今春1年生8人が加わり16人で挑んだ住田。コールド負けを喫したものの、水野翔耶主将（3年）は「感謝しながらプレーした」と思いを口にした。序盤の失点は守備の乱れなどから許した四回の1点のみ。主戦瀬川龍生（2年）の緩急巧みな投球で相手チームを打ち取り、五回までは1安打に抑えた。だが、六、七回に連打を浴びて9点を奪われ、吉田一知監督は「相手の力が上だった。六回は一つ一つの場面で切り替えられなかったようだ」と主戦をおもんばかった。1年生の加入で以前よりも充実した練習メニューをこなせるようになった。水野主将は「1、2年生の存在が大きかった」と夏のリベンジを後輩に託した。





本校野球部は、38年ぶりに快進撃を見せベスト4入りした水沢工業高校を相手に奮闘しました。7月9日（金）に花巻球場で開催されたその試合では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため現地で応援する機会はありませんでした。全校生徒が本校体育館においてオンラインで試合を観戦し、応援を繰り広げました。



### ② 7月19日（月）生徒会役員選挙が実施されました。

生徒会は生徒による自治組織であり、学校行事や学校生活の改善点を見つけ、住田高校を「更に魅力ある学校」にするための中心的組織です。生徒会執行部はその生徒会組織の中心的役割を果たします。今回は、その生徒会執行部を選ぶための役員選挙が行われました。立候補してくれた全員の皆さんに敬意と感謝のこころを持つと同時に、生徒一人ひとりが今後の生徒会活動に協力する姿勢が求められます。

当日は、住田町選挙管理委員会より本物の投票箱を借用し、立候補者と応援弁士による立会演説会を聞いた後で投票箱に向かいました。

【生徒会役員選挙結果】

役 職	クラス	氏名	読み仮名
生徒会長	2B	黄川田 織	きかわだ しき
生徒会副会長	2A	鎌田 祥輝	かまだ しょうき
	1B	菅野 良稀	かんの らき
議 長	2B	長野 冬詩	ながの うた
副 議 長	1B	千田 詢	ちだ まこと
応 援 団 長	2A	岡崎 海樹	おかざき かいき



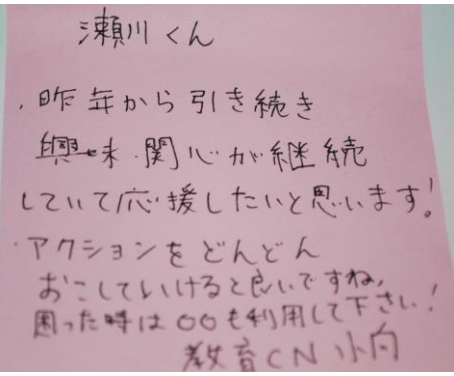
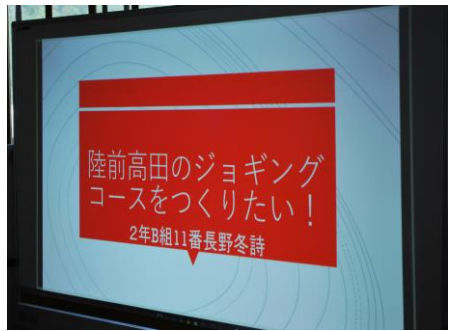
### ③ 7月21日（水）に「地域創造学」アクション計画構想発表会が実施されました。

アクション計画構想発表会は、2年生が夏休み以降に研究したいと考えているテーマについて発表を行い、他者と意見交換を行いながら自分の研究テーマや研究方法について修正を加え、改善を図ることを目的とするものです。1年生は、2年生の発表を聞き、メモを取りながら研究の進め方と発表（プレゼンテーション）の仕方を学びました。3年生は、司会進行・タイムキーパーなど主に運営面で協力してくれました。それぞれの発表終了後、全員で意見交流を行い、「こうすればもっと良くなるのでは？」とか「なぜ〇〇を研究しようと思ったのですか？」などの意見や質問が活発に交わされました。当日は、本校の全教員に加え、町教育委員会の教育コーディネーター4名（若林詩織、小向はるか、奈良朋彦、佐藤範子）からも熱心に指導していただきました。

以下に、2年生の研究テーマを紹介します。



研究テーマ	発表生徒	研究テーマ	発表生徒
郷土料理のレシピ	岡澤咲季	災害の時に役立つ防災グッズ	佐藤太生
住田町のお店を観光客に広める	菅野 咲	自分の地域を住田に伝える	岡崎海樹
住田町や大船渡市で外国人が生活しやすい町をつくる	黄川田織	学校に時計を作ろう	鎌田祥輝
不登校の児童・生徒を支援する	小林愛実	水遊びを広めたい	水野 仁
ゲームで使える英語を覚えよう	福田一稀	パンフレットを作り、大船渡のお店を動画で紹介する	刈谷 琳
住田町の高齢者の介護・支援制度を考える	佐々木海風	おじちゃんの甲子柿	永井志也
高齢化社会について今自分たちが出来ることは何か	瀬川龍生	陸前高田のジョギングコースをつくりたい！	長野冬詩
住田のいいところ	近江帆南	野球の楽しさを知ってほしい	崎山勝博
住田の簡易的なHPを作る	大和田正護	ダン広プロジェクト	藤畑大成
カメラで住田の写真を撮ろう！！	佐藤愛華	子どもたちにバスケットボールの楽しさを教える！	村上立輝
住田町のクイズ計画	高木琴加	すてねこに物をプレゼントスル	加藤白虎
陸前高田に店を増やす	戸羽 爽	介護施設または体の不自由な高齢者の家を訪問し掃除を手伝う	川下絢菜
上有住駅のそうじをしてきれいをもちたい	菊池孝博	保護猫に首輪をつくってあげる	小岩 鷹



1年生と3年生は全員が協力し合い、2年生の研究テーマ発表を聞き意見を出し合いました。それぞれの発表についてコメントを書き、発表者の参考となるように体育館脇の壁に貼り出しました。



④ 7月27日(火)に夏季課外授業で県立産業技術短期大学校水沢校の出前授業を実施しました。

ものづくりに興味津々（2年生対象の出前授業についての「東海新報」の記事を紹介します。）  
奥州・県立産業技術短期大学校水沢校の出前授業は27日、住田町世田米の住田高で行われ、生徒らがものづくりへの関心を高めた。授業は3グループに分かれて実施。水沢校の生産技術科、電気技術科、建築設備科の職員が講師を務め、2年生26人が機器を使った精密測定や配線工事を体験した。建築設備科のグループは木造平屋の住宅模型の組み立てを行った。生徒らは図面と見比べながら、協力して土台や柱、梁（はり）など10種類の部材を慎重に継いだ。佐藤太生（たいき）さんは「向きや順番を一つも間違えることができない、繊細な作業だと知った。身近ではない分野だったが興味が湧いた」と見識を深めた。

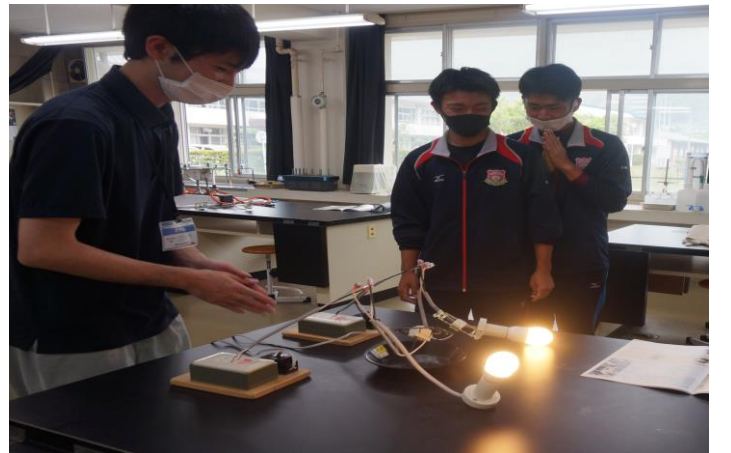
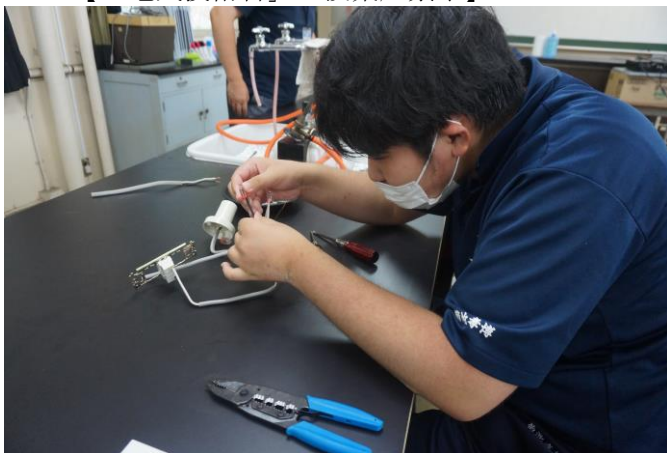
【「建築設備科」の授業風景↓】



【「生産技術科」の授業風景↓】



【「電気技術科」の授業風景↓】



本校の夏季課外は7月26日(月)～7月30日(金)〔7月28日の中学生対象高校一日体験入学日(台風のため中止)を除く〕の4日間の日程で行われました。生徒たちが自分に適した進路を見つけることができるよう、先生方は様々な工夫を凝らして課外授業を計画しています。課外授業等のあり方についてご意見がございましたら、ご遠慮なく副校長までお申し出ください。